

たのはた

復興へのご支援に心から感謝します

2014
No. 564

3



雪、冷たくも 絆、温かく。

2月の2度にわたる大雪。中学校仮設住宅団地の皆さんが、通路に積もった雪の除雪作業に共同で汗を流す（2月18日撮影）

主な内容

- 体験村が総務大臣表彰を受賞 …… 2頁
- 身の回りの防災情報を再確認 …… 6頁
- 広報写真で振り返るこの1年 …… 8頁
- 村の話題 …… 10頁

■体験プログラム利用者・観光客入り込み数 【体験プログラムは年度統計（4～3月）、入り込み数は年統計（1～12月）】

区分	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
サッパ船アドベンチャーズ	95	102	143	682	940	1,100	1,236	282	903	1,713
	342	411	651	2,704	3,898	4,454	4,880	1,056	3,395	5,890
北山崎ネイチャートレッキング	4	18	27	73	53	58	22	6	13	31
	82	210	430	1,393	822	1,253	211	113	60	227
机浜番屋群漁師ガイド 津波語り部ガイド（H23～）			16	50	33	74	38	98	313	283
			420	1,110	579	689	466	3,071	5,124	4,341
教育旅行体験							4		8	24
							304		585	1,770
その他体験	1	3	236	242	136	354	140	7	86	55
	10	41	462	732	569	1,602	619	12	671	331
合計	件数(件)	100	123	422	1,047	1,162	1,440	393	1,323	2,106
	人数(人)	434	662	1,963	5,939	5,868	7,998	6,480	9,835	12,559
村の観光客入り込み数(人)	911,095	917,375	934,906	997,176	931,840	1,010,940	630,525	57,920	277,670	493,090

※22年度に統計基準の見直し（計測地点4→2カ所）、東日本大震災発生

▼**村の観光のこれまで**
 これまでの村の観光入り込み者数は、三陸鉄道と思惟大橋が開通した昭和59年に、前年の2倍以上の114万人。その翌年の60年には、これまでもで最多の121万人が村を訪れました。その後、観光客数は年々減少し、平成10年には62万人まで落ち込んでいます。
 観光客数が年々減り続けるそんな村の観光に転機が訪れたのは11年。(財)日本交通公社が行った全国観光資源評価「自然資源・海岸の一部」で、北山崎が国内唯一、最高ランクの特A級に格付けされました。それをきっかけに観光客は年々増加し、16年以降は90万人以上の人が村を訪れ、21年には約20年ぶりに100万人を超えました。年間に約100万人もの観光客が訪れていた田野畑ですが、課題もありました。

▼**村の観光のこれから**
 これからの課題は、観光客のりとこの交流活動も停滞していたことから、この状況を何とかしようと組織されたのが体験村です。
 ▼**体験村ができて変化**
 体験村が体験型観光を進める上で、大きかった存在が「机浜番屋群」です。かつては「古くなくて見苦しい」とさえ言われていた番屋も、村外の人から見れば素晴らしい資源でした。
 この番屋群を有効活用するため平成17年、漁師文化や北山崎の自然をテーマに体験内容を見直し、「番屋エコツーリズム」として新たな展開を図ります。
 サッパ船や北山崎トレッキングに加え、番屋群漁師ガイド、番屋料理体験などを開始。体験者は、初年度100件・434人だったものが、25年度（12月末）には2106件・1万2559人と年々増加し、その滞在時間は延びていきました。
 村を訪れる観光客の楽しみ方が、観光地を見て歩くだけの物見遊山の旅から、人とのふれあいや暮らし・文化を学び楽しむ旅に変化してきていることを表しています。

▼**体験村ができて変化**
 体験村が体験型観光を進める上で、大きかった存在が「机浜番屋群」です。かつては「古くなくて見苦しい」とさえ言われていた番屋も、村外の人から見れば素晴らしい資源でした。
 この番屋群を有効活用するため平成17年、漁師文化や北山崎の自然をテーマに体験内容を見直し、「番屋エコツーリズム」として新たな展開を図ります。
 サッパ船や北山崎トレッキングに加え、番屋群漁師ガイド、番屋料理体験などを開始。体験者は、初年度100件・434人だったものが、25年度（12月末）には2106件・1万2559人と年々増加し、その滞在時間は延びていきました。
 村を訪れる観光客の楽しみ方が、観光地を見て歩くだけの物見遊山の旅から、人とのふれあいや暮らし・文化を学び楽しむ旅に変化してきていることを表しています。



体験村は教育旅行の民泊の受け入れにも力を入れている



- 体験村・たのはたの受賞歴
- 19年度 元気なコミュニティ100選（岩手県）
エコツーリズム大賞 特別賞（環境省関連）
 - 20年度 オーライ・ニッポン！大賞 審査委員長賞（農林水産省関連）
 - 22年度 グリーンツーリズム大賞 優秀賞（毎日新聞社主催）
 - 23年度 第7回JTB交流文化賞 最優秀賞（㈱ジェイティービー）
 - 25年度 地域づくり総務大臣表彰 団体表彰（総務省）

総務大臣表彰の受賞を喜ぶ体験村・たのはたのスタッフの皆さん

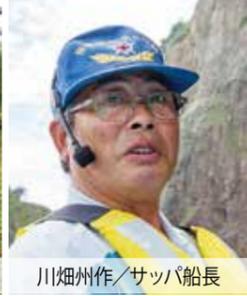


「体験村・たのはた」発足から10年 体験型観光の活動などが認められ 地域づくり総務大臣表彰を受賞

平成25年度地域づくり総務大臣表彰の表彰式が2月1日に長野県で行われ、NPO法人体験村・たのはたネットワーク（道合勇一理事長）が、団体表彰を受賞しました（全国で17団体が受賞）。
 この表彰は、地域をより良くしようと頑張る団体や個人を表彰し、地域づくりへの情熱や思いを高めることなどが目的。昭和58年に始まり今年が31回目となるものです。体験村は「防災教育プログラムも導入し、交流が活発化している」「規模が小さい団体ながら、地域を巻き込んだ取り組みを展開している」ことなどが評価されました。
 平成15年10月に「体験村・たのはた推進協議会」として発足した体験村。体験型プログラムの開発や情報発信を進め、16年4月から21種類の体験プログラムで観光客の受け入れをスタート。その後、20年1月にNPO法人化し、事業を展開しています。
 道合理事長は「これまでの活動が認められ光栄です。村の皆さんの理解と協力があつてこそこの受賞で、全員に感謝しています。今後は内陸部の体験メニューや年間を通じた受け入れメニューをさらに開発していきたいです」と受賞の喜びと抱負を話しています。



辞職坂ウォーキング



川畑州作/サツパ船長



佐々木淳子/スタッフ



貝殻アート体験



泡瀬和也/自然ガイド



宮森秀幸/津波語り部



番屋料理体験



中机隆憲/サツパ船長



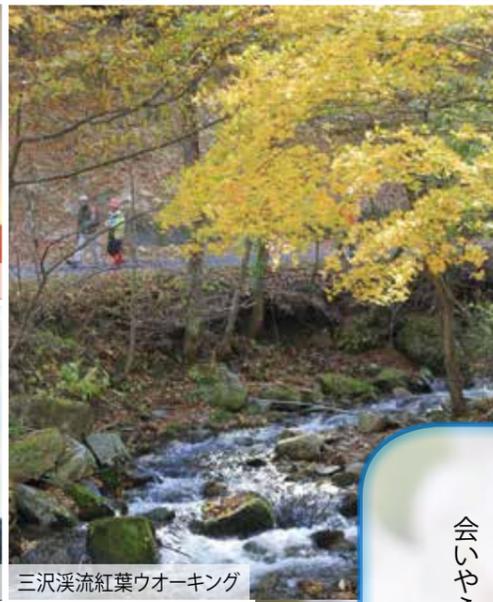
民泊受け入れ



佐藤辰男/自然ガイド



赤坂広太/スタッフ



三沢溪流紅葉ウォーキング



山根要一郎/サツパ船長



ジオツーリズムガイド



有谷史枝子/自然ガイド



早野一弘/津波語り部



平坂夏恵/スタッフ



熊谷章範/自然ガイド



工藤房子/津波語り部



早野くみ子/津波語り部



佐々木芳利/三沢溪流ガイド



武井俊樹/スタッフ



中机義廣/サツパ船長



ガラス浮き球編み込み体験



サツパ船アドベンチャーズ

体験村・たのはたネットワーク

はさらに全国的な注目を集め、たくさんの観光客が訪れてくれると思います。交流人口を増やせる大きなチャンスです。これまでの10年間で培ってきたものを土台に、さらに魅力ある体験活動を進めていきます。そのためには、村に住む皆さんの力がどうしても必要です。小さな力も結集すれば大きな力になります。体験村は村の良さを生かしながら、少しずつ活動の輪を広げていきます。これからも皆さんの理解と協力をお願いします。ぜひ、そして皆さんもぜひ、観光客との出会いやふれあいを楽しんでください。

体験村・たのはたネットワークは設立以来10年間、村の皆さんの理解と協力を得ながら、スタッフ一丸で活動してきました。新しい仲間やアイデアを加えながら、これからも継続していきます。「震災前のように賑やかに」「観光客がいっぱい来てほしい」という村の子どもの声を聞くことがあります。私たちの活動は、観光客を楽しませるだけでなく、子どもたちに村の魅力を伝えること、子どもたちの思いを叶えることにつながると信じています。

4月には三陸鉄道が全線運行再開、ジオパークやロングトレイルなど、田野畑

これまでも
これからも
田野畑でー

さまざまな体験メニューで皆さんを「おもてなし」



三浦善人/サツパ船長



金子すみ/民泊家庭



上村浩司/自然ガイド



楠田拓郎/スタッフ



根木地徳栄/津波語り部



津波語り部ガイド



平坂忠三/自然ガイド



金子洋子/自然ガイド



渡邊悦子/スタッフ



北山崎ビジターセンター



早野憲子/民泊家庭



上村繁幸/サツパ船長



小長根香奈子/自然ガイド



下坂弘次/津波語り部



北山崎ネイチャートレッキングガイド

3月9日(日)は津波避難訓練

身の回りの 防災情報を再確認

◎防災情報を再確認しよう

私たちが普段の生活の中で情報を得るのは、新聞や雑誌、インターネットなど、さまざまなものがあります。気象警報や津波情報など、災害が発生しそうなときや発生したときの情報入手手段は、▼テレビ▼ラジオ▼メール▼防災行政無線が主になると思います。

その情報は、聞いたから大丈夫、聞いたから安心というものではないかもしれません。その情報をどのように生かし、どのように行動するかが大切になります。

情報を生かして行動するためには、防災情報などの種類を知り、自分にどのような危険が迫っているのかを正しく理解する必要があります。まずはもう一度、私たちの身の回りにおける防災情報を確認しましょう。

◎「巨大」「高い」は非常事態

昨年3月から、津波警報が改善されています。マグニチュード8を超える巨大地震の場合、予想される津波の高さを「巨大」「高い」という言葉で発表し、非常事態であることを伝えます。特に「巨大」という表現をした場合、東日本大震災規模の津波に襲われる危険があります。すぐに、より高い場所に避難してください。

その後、正確な地震規模を確定し、予想される津波の高さを数値で発表。これには、地震発生から15分程度かかる見込みです。

震源が沿岸に近い場合、津波警報の発表が津波の到達に間に合わないこともあります。海のそばで強い揺れを感じたり、弱くても長い揺れを感じたりしたら、すぐに避難を始めてください。

◎命を守る行動必要な特別警報

特別警報は、これまでにない危険が迫っていることを知らせるもの。東日本大震災や昨年8月9日に本県内陸部が大きな被害を受けた大雨のような異常な現象が予想される場合に発表されます。

特別警報が発表された場合、その地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況。直ちに命を守るため、避難が必要で、

しかし大雨などの場合、既に外出が危険になっていることも考えられます。屋外の状態、避難指示・勧告などに留意し、避難するか屋内の安全な場所にとどまるかなど、命を守るための判断と行動をしてください。

特別警報が発表されなくても、安心はできません。注意報や警報でも災害発生の際はあります。

災害から自分や家族の命を守るため、発表される注意報、警報、特別警報などの情報に注意し、早め早めの行動を心掛けてください。

特別警報

警報

注意報

防災行政無線の戸別受信器 赤ランプが点滅していませんか？

各家庭に設置されている戸別受信器。「電池」のランプが赤く点滅していませんか？ これは電池交換のお知らせです。電池を交換しないと、停電の時に大切な情報が流れません。すぐに交換しましょう。

◆問い合わせ先…総務課 (☎34-2111 内線12)



電池ランプが赤く点滅

単4電池が4本必要



■大津波警報・津波警報・津波注意報の分類

	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表	巨大地震の場合	
大津波警報	10m超	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台など安全な場所に避難。「ここなら安心」と過信せず、より高い場所に避難。津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない
	10m		
	5m		
津波警報	3m	高い	
津波注意報	1m	(標記なし)	海の中にいる人は海から上がる。海岸に近づかない

緊急速報メール 携帯電話の設定をお忘れなく！

災害情報を配信中

◆問い合わせ先…総務課 (☎34-2111 内線12)

緊急速報メールは、村内の携帯電話鉄塔からの電波が受信できる場所であれば、専用の着信音とバイブレーションでお知らせします。受信するためには、①緊急速報メール対応機種②受信設定一が必要。機種により設定方法などが違い、購入した時点で設定されている機種もあります。正しい情報を早く入手するため、受信設定をしましょう。詳しい内容や設定方法は、下記ホームページや最寄りの携帯電話販売店で確認をお願いします。

- ドコモ…<http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/aremail>
- KDDI…http://www.au.kddi.com/notice/kinkyu_sokuho/
- ソフトバンク…http://mb.softbank.jp/mb/service/urgent_news



情報—
大切なのは「聞くこと」より「聴くこと」
「耳を傾けて注意して聴き取ること」が大切です
そのためには
普段からの心構えが重要です
心構えがないと
情報を聴くこと
その情報を生かすこと
行動することにつながりません
自分の命を守るのは
自分自身の判断と行動です
情報を聴くだけでなく
さまざまな情報を基に考え
その場その時での
最善の行動につなげましょう



3月9日(日) 午前9時 津波避難訓練を開催します

◆問い合わせ先…総務課 (☎34-2111 内線11)

広報写真で振り返るこの

1年

もうすぐ3月11日。東日本大震災から3年がたとうとしています。村内では、高台移転場所の造成や災害公営住宅の建築が進んでいます。皆さんにとってこの1年、どんな年だったでしょうか？ 昨年の3月からの1年を広報写真で振り返ってみます。

10月5日の「村復興祈念祭・前夜祭」で夜空を彩った打ち上げ花火



平成25年3月11日
アズビィ体育館で「東日本大震災追悼式」を開催。約350人が参列した



3月29日
松前沢団地の造成工事が完了。4月には災害公営住宅の建築が始まった



8月6日（写真は見学会の様子）
松前沢団地の災害公営住宅10棟が完成。7月29日には見学会を開催した



8月15日
第52回成人式。対象者49人のうち37人が出席。大人への第一歩踏み出す



9月3日
「第17回北海道・北東北知事サミット」がホテル羅賀荘で開催された



4月
小中学校入学式、児童館入園式など、新生活始まる（写真は小学校入学式）



6月14日
平成24年9月から工事を進めていた明戸地区の「村サケふ化場」が完成



9月16日
村敬老会を開催。75歳以上の約140人が出席し、会食や余興を楽しんだ



10月5、6日
「村復興祈念祭」を開催。多くの人が訪れ、1日も早い復興を願った



11月2日
「第2回村教育の日のつどい」の復興子ども会議で児童生徒が発表



7月28日
3年ぶりに行われた「島越大神宮祭」。漁の安全と大漁、復興を祈願



8月5日
常陸宮ご夫妻が来村。北山崎をご覧になり、ホテル羅賀荘にご宿泊



11月7日
三陸沿岸道路「田野畑道路」の起工式が浜岩泉地区で開催された



12月11日
明戸防潮堤復旧工事の安全祈願祭。約50人が出席し工事の安全を願った



平成26年2月2日
羅賀コミュニティセンターが完成し、地域の皆さんが完成を祝った

田野畑村 この1年

平成25年3月

11日・東日本大震災追悼式を開催

29日・松前沢団地造成工事が完了

4月

5日・中学校入学式（新入生31人）

9日・小学校入学式（新入生25人）

12日・たのはた児童館入園式（新入園児10人）

5月

20日・元田野畑村長の早野仙平さんが逝去

24日・三陸復興国立公園が創立

26日・村消防団大演習を開催

6月

14日・サケふ化場が完成

16日・牛乳まつり

23日・北山崎シャクナゲ祭り

7月

27日・羅賀みなど祭り

28日・3年ぶりに島越大神宮祭

29日・青森県藤崎町の児童を招き小学5年生交流事業

8月

4日・田野畑村長選挙で新人の石原弘氏が初当選

5日・常陸宮ご夫妻が来村

6日・松前沢団地の災害公営住宅10棟が完成

9月

3日・第17回北海道・北東北知事サミットがホテル羅賀荘で開催される

16日・ホテル羅賀荘で村敬老会開催される

24日・三陸ジオパークが誕生

10月

5日・6日・村復興祈念祭

27日・第42回駅伝競争大会

田野畑むらづくり基金を活用して北山崎園地内にシロバナシャクナゲ400本を植樹

11月

2日・第2回村教育の日のつどい

7日・浜岩泉地区で三陸沿岸道路「田野畑道路」の起工式

12月

1日・歳末たすけあい演芸会

9日・島越観光交流センターの工事安全祈願祭

11日・明戸防潮堤工事安全祈願祭

16日・マレットゴルフ場が完成

平成26年1月

6日・教育長に巖崎敏雄氏が就任

12日・村消防団消防出初め式

2月

2日・羅賀コミュニティセンター完成を祝う会

3月

2日・三陸沿岸道路「尾肝要道路」開通

11日・東日本大震災追悼式



年長児と年中児が一つの輪になり、楽しそうに舞った

園児が受け継ぐ伝統の鹿踊り

若桐保育園（鈴木康子園長、園児38人）が2月6日、鹿踊り引き継ぎ会を行いました。1年間踊ってきた年長児10人から年中児11人への引き継ぎ。年長児は「きれいに踊ってね」と鹿をかたどった帽子を年中児に手渡しました。鹿踊りは、4年前から菅窪鹿踊り保存会に教わりながら取り組んでいるもので、お遊戯会などで披露されています。引き継ぎを受けた八角真央ちゃん（5つ）＝島越＝は「練習を頑張っって格好良く踊りたいです」と瞳を輝かせていました。

羅賀コミセン完成を皆で祝う

「羅賀地区コミュニティセンター完成を祝う会」が2月2日、完成したばかりの同施設で開催されました。会には地区の皆さん約100人が参加。仮設住宅に入居している人など、久しぶりに顔を合わせる人と「久しぶりだがねえ」「元気でましたがあ」と会話も弾んでいました。畠山拓雄自治会長は「地区にとって念願の公民館。本当にうれしい」とあいさつ。婦人会が祝いの舞を披露したり、カラオケで盛り上がったりして、施設の完成をみんなで喜び合いました。



婦人会のメンバーなどが祝いの踊りで祝宴を盛り上げた

尾肝要道路開通に向け着々と

3月2日に開通を迎える尾肝要道路のカウントダウン看板の除幕式が2月4日、役場前で行われました。工藤栄吉三陸国道事務所長や石原弘村長、工事関係者など約50人が出席。工藤所長は「事業化から約6年での開通は、皆さんの協力のおかげ」と感謝。石原村長は「尾肝要道路はまさに『命の道』『心の道』。開通でさらに心の輪が広がり、復興に向けて前進できる」と期待を込めました。紅白幕が引かれて看板が姿を現すと、会場は喜びの拍手に包まれました。



約50人が見守る中、役場前に設置された看板の除幕が行われた



活動宣言をする畠山玄会長と田野畑中学生徒会の役員

森林活動通し自然と心を育む

村と三陸北部森林管理署（堀内桂二署長）が1月31日、「遊々の森」協定書に調印を行いました。来年度、田野畑中が明戸地区の国有林約1ヘクタールにナラやサクラなど広葉樹2,040本を植樹し、草刈りや生育の様子を定期的に観察。環境学習の場として活用します。田野畑中生徒会長の畠山玄君（2年）が「活動を通して豊かな自然と心を育みたい」と活動宣言。環境福祉委員長の熊谷朋哉君（2年）は「木の種類を覚えながら植樹したい」と抱負を話していました。



中学生たちの若い力が除雪作業を大幅にはかどらせた

仮設住宅の雪に力強い中学生

田野畑中学校（関向正俊校長、生徒105人）の2年生30人が2月18日、中学校仮設住宅団地に出向き、除雪作業に汗を流しました。2月の2度にわたる大雪で、団地の狭い路地には、深い積雪の上に屋根から落ちた雪がたまり生活に支障を来していました。中里実保さんは「家では除雪をしないし、部活とは違う筋肉を使うので大変。でも地域のために働けて良かった」と額に汗。仮設住宅の皆さんは「中学生に手伝ってもらい本当に助かった」と目を細めていました。

バスケ交流で体育館には熱気

村バスケットボール協会（佐藤弘明会長）が1月25日、田野畑小学校体育館で「第12回村ミニバス大会」を開催しました。本村と岩泉町から男子4チーム、女子6チームが参加。真冬の体育館は、応援に駆けつけた父母の大声援と、ひたむきにボールを追いかけてゴールを狙う選手たちの姿で熱気に包まれていました。試合は男女とも本村のチームが圧倒的な強さを見せて優勝。奥地伶風さん（田小6年）は「最優秀選手に選ばれてうれしい」と笑顔を見せていました。



鋭いドリブルで相手ゴール下に攻め込む（写真提供：村バスケ協会）

お知らせ

参加者などを募集中

いろいろなお知らせ



2月6日、田野畑小前にドクターヘリが着陸

人口と世帯		火災	
2月1日現在()は前月比		(1月21日～2月20日)	
人口	3,737人(-10)	火災の【今月】	0件
男	1,848人(-5)	発件数【今年】	0件
女	1,889人(-5)	無火災の連続記録	
世帯	1,432世帯(-3)	(2月20日現在)	347日

募 羅賀荘で従業員を募集

ホテル羅賀荘では、次のとおり従業員（正社員・契約社員・パート）を募集しています。

- ◆募集職種…調理人、料理の盛り付け、客室清掃、山海ろばたハウス(明戸地内)接客業務
- ◆募集人数…各業務とも若干名。年齢不問です
- ◆勤務時間…山海ろばたハウスは午前9時～午後4時。その他の職種は当社の規定による
- ◆給与…当社の規定による
- ◆加入保険…雇用、労災、健康、厚生
- ◆応募期限…3月31日(月)
- ◆応募方法…履歴書(写真付き)を提出してください。後日、面接の日時などをお知らせします
- ◆応募・問い合わせ先…(株)陸中たのはた(〒028-8403 田野畑村羅賀60-1 ☎33-2611 担当：高木)

知 人間ドックに助成金交付

人間ドック受診者に助成金を交付しています。本年度受診した分の申請期限は3月31日(月)。受診した人は、早めに申請してください。

- ◆対象…40～74歳で平成25年4月1日以降に人間ドックを受診した人(全ての医療機関での受診が対象)
- ◆助成額…課税状況により1万～2万円(2年に1回の助成)
- ◆申請方法…受診機関の領収書か受診証明書、通帳、はんこを持参し、保健福祉課に申請
- ◆申請・問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

募 公社で臨時職員を募集

村産業開発公社では、次のとおり臨時職員を募集します。

- ◆募集職種
 - ①牛乳製造
 - ②長嶺牧野の管理・給餌など
- ◆募集人数…各1人
- ◆応募資格…普通自動車運転免許を有する人
- ◆給与など…当社規定による
- ◆加入保険…雇用、労災、健康、厚生
- ◆勤務時間
 - ①午前8時～午後5時
 - ②午前8時30分～午後5時30分
- ◆応募期限…3月20日(木) ※応募状況により期限前でも締め切る場合があります
- ◆応募方法…履歴書(写真付き)を提出してください(郵送可)。後日、面接の日時などをお知らせします
- ◆応募・問い合わせ先…(株)田野畑村産業開発公社(〒028-8401 田野畑村尾肝要39-1 ☎34-2080)

知 住まいの復興給付金制度

4月1日から、消費税率が8パーセントに引き上げられます。大震災で被災した住宅を新たに建築や購入する場合、引き渡しを受けるのが4月1日以降であれば、8パーセントの消費税率が適用されます。「住まいの復興給付金制度」は、消費税率の引き上げに伴う負担増加分を支援する制度です。詳しい内容は問い合わせください。

- ◆問い合わせ先…住まいの復興給付金準備事務局コールセンター(☎0570-200-246)

東日本大震災追悼式を開催します

- ◆日時…3月11日(火) 午後2時30分～4時
- ◆場所…アズビィホール
- ◆内容…国主催追悼式のテレビ中継、献花など(献花用の花は村が準備)
- ◆服装…自由(礼服、平服)
- ◆問い合わせ先…復興対策課(☎34-2111 内線69)

知 火災予防を心掛けましょう

3月1日から7日まで「消すまでは心の警報ONのまま」をスローガンに、春の全国火災予防運動を展開します。風が強く空気が乾燥し、火災の起こりやすい気象状態が続くこの季節。火の取り扱いには十分注意しましょう。

- ◆火災予防三つの習慣
 - ①寝たばこは絶対にやめる
 - ②ストーブは燃えやすい物から離れた位置で使用する
 - ③ガスこんろなどのそばを離れるときは必ず火を消す
- ◆火災予防四つの対策
 - ①逃げ遅れを防ぐため住宅用火災警報器を設置する
 - ②寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐため防災製品を使用する
 - ③火災を小さいうちに消すため消火器などを設置する
 - ④高齢者や体の不自由な人を守るため隣近所の協力体制をつくる
- ◆問い合わせ先…消防田野畑分署(☎34-2100)

知 3月9日は津波避難訓練

東日本大震災からもうすぐ3年。村は、大津波警報が発表されたときの避難や初動が迅速に行えるように、津波避難訓練を実施します。

- ◆日時…3月9日(日) 午前9時～10時20分
- ◆想定…沿岸北部で震度5強を観測する地震が発生。大津波警報が発表され、沿岸部に避難指示を発令した
- ◆内容…避難訓練、水門閉鎖訓練、避難誘導訓練など
- ◆その他…訓練に伴い、防災行政無線でサイレンを吹鳴
- ◆問い合わせ先…総務課(☎34-2111 内線11)

岩手県最低賃金
1時間当たり**665円**です

知 小中学生の医療費助成中

◆対象…小学生、中学生

◆助成期間…就学時から15歳に達した年度の3月31日まで

◆対象医療機関…保険医療機関、保険薬局

◆給付方法…医療機関の窓口でいったん医療費の自己負担分を支払った後、役場に申請

◆申請方法…医療費(一部負担金)の領収書、健康保険証、金融機関の口座番号(保護者名義)、はんこを持参。役場生活環境課で所定の用紙に必要事項を記入して申請。数カ月分をまとめて、1カ月ごとに申請してください

◆申請・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線25)

募 三鉄新型車両試乗会を開催

三陸鉄道では4月6日の全線運行再開を前に、田野畑一小本駅間で新型車両の試乗会、田野畑駅付近の避難経路の確認会を開催します。希望する人は電話で申し込んでください。

- ◆日時…3月29日(土) 午前10時～11時45分
- ◆集合場所…田野畑駅
- ◆受付開始…3月5日(水) 午前9時～
- ◆参加料…無料
- ◆募集人数…先着40人 ※小学生以下は保護者同伴
- ◆申し込み・問い合わせ先…三陸鉄道北リアス線運行本部(☎0194-52-3411)

募 求人情報を載せませんか

広報たのはたに、村内企業などの求人情報を掲載しませんか。掲載は無料。詳しい内容は担当課に問い合わせください。

- ◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線62)

知 し尿くみ取り料金を改定

消費税増税に伴い、し尿くみ取り料を4月1日に改定します。

- ◆改定内容…現行料金に消費税増税分を加算します
- ①180円まで
 - ◎1,128円→◎1,161円
- ②180円を超える場合、180円または端数ごとに加算
 - ◎112円80銭→◎116円10銭
- ◆問い合わせ先…宮古地区広域行政組合(☎0193-64-2011)、生活環境課(☎34-2114 内線21)

募 生活なんでも相談会開催

仕事、お金、病気、人間関係や法律など生活の困りごとに無料でお答えします。村外の専門家が対応し、秘密は守られます。

- ◆日時…3月20日(木) 午前10時～正午
- ◆場所…村保健センター
- ◆申込期限…3月19日(水) ※申し込まなくても相談できますが、申込者優先となります
- ◆申し込み・問い合わせ先…あすからのくらし相談室・宮古(☎0193-64-2400)、保健福祉課(☎33-3102)

募 自衛隊で幹部候補生募集

自衛隊では、次のとおり幹部候補生を募集しています。

- ◆種目
 - ①一般・技術幹部候補生(飛行要員含む)…22歳以上26歳未満
 - ②歯科・薬剤科幹部候補生
 - 歯科…20歳以上30歳未満
 - 薬剤科…20歳以上28歳未満
- ◆受付期限…4月25日(金)
- ◆申し込み・問い合わせ先…自衛隊宮古地域事務所(☎0193-63-3881)

3月の無料法律相談

- ◆期日…6日(木)、13日(木)、15日(土)、20日(木)、27日(木)
- ◆時間…午前10時～午後3時
- ◆場所…宮古市役所
- ◆申し込み先…宮古市市民相談室(☎0193-62-2111)

育英奨学資金 をご利用ください

村は、向学心に燃える生徒・学生で経済的な理由により進学が難しい人に、育英奨学資金の貸し付けを行っています。

◆対象要件：次の①～④の全てに該当する人で、高校、短大、大学や大学院などの在学者（新年度在学予定者を含む）

① 村に住所があり、3カ月以上居住している人の子弟
② 人物や学業が優れていて健康な人
③ 経済的な理由で就学が困難と認められる人
④ 在学または最終出身学校長から奨学生の推薦を受けている人

※他団体の奨学金貸し付けを受ける人は対象外
◆貸付金利：無利子
◆貸付金額

- ① 高校：月額1万2千円以内
- ② 短大、大学：月額3万5千円以内（入学金など50万円以内）
- ③ 大学院：月額5万円以内
- ④ 医科、歯科、獣医科、薬学科

など：月額12万円以内

◆返済方法：卒業後、据置期間を含めて5～15年以内（学校により期間が異なります）に年賦か月賦で返済。ただし、村内で農林水産業に就業したときは返済を猶予し、10年間就業し続けた場合は返済の免除を受けることができます

◆申込期限：3月31日(月)までに在学証明書以外の書類を添えて申し込んでください。在学証明書は入学後に手続きをし、4月18日(金)までに提出してください。申込用紙は教育委員会で配布しています

◆審査：4月末から5月中旬に開催予定の村奨学生選考委員会で審査

◆その他：在学中は毎年度末に成績証明書、毎年度当初に在学証明書の提出が必要です。奨学生は年度途中でも随時受け付けています。気軽にご相談ください
◆申し込み・問い合わせ先：教育委員会（☎34-2226）

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

(2月20日現在)

3202万9,370円

525件 (村内107件、県内146件、県外272件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課（☎34-2111 内線15）までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：3月2日(日)～22日(土)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
3月2日(日)	アズビ健康スポーツ教室「ソフトバレーボール交流大会」	アズビ体育館	9:00～12:00	教育委員会
	三陸沿岸道路「尾肝要道路」開通式（一般開放は午後3時）	尾肝要トンネル北側入り口付近	10:50～12:00	三陸国道事務所（☎0193-62-1711）
3日(月)	アズビ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビ体育館（毎週月曜日）	19:30～21:00	教育委員会
5日(水)	アズビ健康スポーツ教室「バドミントン教室」	アズビ体育館（毎週水曜日）	20:00～21:00	教育委員会
7日(金)	アズビ健康スポーツ教室「フットサル教室」	アズビ体育館（21日を除く金曜日）	19:00～21:00	教育委員会
9日(日)	村津波避難訓練	村沿岸部など	9:00～10:20	総務課（内線11）
11日(火)	東日本大震災追悼式	アズビホール	14:30～16:00	復興対策課（内線69）
12日(水)	田野畑中卒業式	中学校体育館	9:30～11:00	田野畑中（☎34-2301）
15日(土)	たのはた児童館卒園式	たのはた児童館	10:00～12:00	たのはた児童館（☎34-2331）
19日(水)	乳児健診	健診センター	13:00～15:30	保健福祉課
20日(木)	田野畑小卒業式	小学校体育館	10:00～11:30	田野畑小（☎34-2050）
21日(金)	若桐保育園卒園式	若桐保育園	10:00～11:00	若桐保育園（☎37-3577）
22日(土)	診療所休診			診療所

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

期間：3月19日(水)～20日(木)

月日	場所	時間
3月19日(水)	グループホームつくえ付近 北山地区総合センター	9:40～10:00 10:10～10:25
3月19日(水)	佐藤進氏宅付近 望洋館	11:05～11:20 11:30～11:45
3月20日(木)	産直プラザ尾肝要 山栄会リアス倶楽部付近 甲地公民館	9:45～10:00 10:10～10:40 10:50～11:05

◆問い合わせ先…教育委員会（☎34-2226）

はまなす 掲示板

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課（3月20日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 2月1日に体験村・たのはたが受賞したのは？
A) エコツーリズム大賞
B) 地域づくり総務大臣表彰

Q2 3月9日に開催される大切な行事は？
A) 津波避難訓練
B) 東日本大震災追悼式

■前号(2月号)の正解
Q1→A、Q2→B
■当選者(敬称略)
熊谷正初(田野畑)、上山明美(田野畑)、佐々木ちひろ(菅窪)、熊谷キヨ(沼袋)、中村志会之助(埼玉県)

おめでとう おくやみ

[平成26年1月届け出分] (一部敬称略)

●健やかに ～誕生～
金澤 蓮(れん)くん
翔・枝理 和野
三浦 紗椰(さや)ちゃん
直矢・五月 田野畑
山崎 隼矢(しゅんや)くん
喬詔・恵莉 田野畑

■安らかに ～お悔やみ～
東崎 英弘(80) 浜岩泉
佐藤 要(80) 七滝
菊地 茂雄(80) 和野
熊谷 ヤス(92) 西和野
金澤 哲夫(82) 大芦

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口にお申し出てください

小さな掛け金

「スポーツ安全保険」に加入しませんか？

大きな補償



「がんばろう田野畑!耐久ソフトボール大会」の様子(資料写真)

スポーツをする前に、加入をお勧めするのが「スポーツ安全保険」です。

スポーツのほか、文化、ボランティア、地域活動などを行う5人以上の団体が対象。移動の往復途中も含めた活動中の損害事故、賠償責任を負う事故を補償します。

さらに今回、手術保険金の改定が行われ、入院を伴わない手術も支払いの対象となるなど、補償対象が拡大されました。

◆掛付け金：800～11000円（加入区分で異なります）
◆加入方法：加入依頼書を提出してください。用紙はアズビ学習センターで配布しています

◆申し込み・問い合わせ先：田野畑村体育協会（教育委員会内 ☎34-2226）

保険期間は4月1日から平成27年3月31日までの1年間。もしも備えて加入を検討してみたいかがでしょうか？



島山 真理奈さん(19)＝沼袋＝

★仕事は？

ホテル羅賀荘のフロント係です。接客業に興味があってこの職場を選びました。もうすぐ1年たちますが、敬語の使い方や電話応対など、まだまだ未熟。2年目は、やりがいを感じられるように頑張ります。

★今、頑張っていることは？

もちろん仕事です。それと小学生のころから続けているバレーボール。今でも週2回、10代から50代の幅広い世代の人たちと一緒に汗を流しています。

★休日は何をしていますか？

家でゴロゴロするかどこかに出掛けるかですね。気が向いたときだけは部屋掃除をします。

★理想の男性のタイプは？

面白いけど真面目な人。まあ気が合えば誰でも…。

★最後に一言お願いします！

ホテル羅賀荘をぜひご利用ください。お待ちしております。一緒にバレーを楽しめる人も募集中！



わが家の
アイドル

大澤 千華ちゃん(1歳6カ月)
預人さん・香苗さん＝和野＝

お母さんからのひとこと

ドラえもとアンパンマン、ボール遊びが大好き。お姉ちゃんと仲良く遊んでいます。最近はミカンがお気に入り。笑顔がすてきな女の子になってね。



成長の記念に、お子さんの写真を掲載しませんか。対象は村内に住所がある1歳～2歳くらいの子ども。かわいい笑顔で、村の皆さんに元気を届けてください。掲載を希望する人は、役場政策推進課広報担当(☎34-2111 内線62)まで連絡をお願いします。

編集ごぼれ話

先日、私が留守にしていたとき「一村民です。毎月広報の写真で元気をもらっています」と、うれしい電話が自宅にあつたとのこと。どこのどなたか分からないですが「ありがたいとございます。その言葉で、私もものすごい元気をもらいました」とこの場を借りてお礼▼それにしても雪が降りましたね。積もりましたね。よりによって2週連続とは…。腰や腕が悲鳴を上げているのは、きっと私だけではないでしょう。でも例年田野畑の雪はまだまだこれから？ せめて、今ある雪が全て溶けてからにしてもいいものですね▼3月9日は津波避難訓練です。最近の私は地震があったとしても「緊急地震速報が出ないから大丈夫」という根拠のない過信。震災のことを忘れたわけではないのですが、入ってくる情報を自分の都合の良いように考えてしまおうです。避難訓練がきっかけで構いません。もう一度、私たちみんなが防災について考えてみませんか？ (政策推進課 佐々木和也)